

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

JR新潟駅周辺地区

平成24年10月

新潟県新潟市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	新潟市	地区名	JR新潟駅周辺地区			面積	43ha
交付期間	平成20年度～24年度	事後評価実施時期	平成24年度	交付対象事業費	655百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名											
		基幹事業	道路(都市計画道路3・3・573新潟駅西線、都市計画道路3・4・542駅南線)										
	提案事業	地域創造支援事業(拠点形成検討調査(花園1丁目(新潟駅南口周辺))、まちづくり活動推進事業(駆きかく会議)											
		事業名	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし				-				-		
		提案事業	なし				-				-		
	新たに追加した事業	基幹事業	なし				-				-		
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査)				都市再生整備計画で実施した事業の効果の評価、分析のため				影響なし		
	交付期間の変更	当 初	平成20年度～24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変 更	-					-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		従前値	目標値		数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)			フォローアップ予定時期	
	指標1	駅南線の歩行者通行量の増加		人／日	4,196	H18	4,620	H24	モニタリング	評価値	あり	昨今の経済状況の低迷を背景に都市活動が低下したことが要因と考えられる全市的な歩行者通行量の減少傾向から、目標達成は見込まれないが、街路整備により歩道が構築され、歩行者が安全に通行できる空間が形成された。	
									2,771		なし		
	指標2	地区内における低未利用地の割合		ha	5.7	H15	5.1	H24			あり	新潟駅西線および再開発事業の一体となった整備による相乗効果で周辺地域の活性化が促進され、低未利用地が減少し、駅南側市街地の賑わいが向上した。	
									4.6		なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標3	まちづくり活動の参加者数		人／年	240	H18	264	H24			あり	本事業に伴うまちづくり活動を契機に、地元主体による勉強会やイベント開催など継続的なまちづくり活動の実施へ繋がった。	
									280		なし		
	その他の数値指標1	地区内交通事故発生件数		件／年	249	H19			モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)
4)定性的な効果発現状況	その他の数値指標2	居住人口の増加		人／年	3,014	H19			176			駅西線などの街路整備による歩行者ネットワークの構築により、歩行者の安全性の向上に寄与した。	平成25年4月
									3,452			再開発事業による居住人口増加および再開発事業と新潟駅西線とともに相乗効果による、周辺住環境の魅力向上により、居住人口の増加に繋がった。	平成25年4月
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた								
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
	住民参加プロセス	駆きかく会議			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
					●				市民意見を反映した計画づくりが図れるよう、市民と行政の橋渡しとなる駆きかく会議を適宜実施する。				
	市民ワークショップの開催			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
				●				万代広場の整備に向けた市民ワークショップを開催し、広場計画の検討を進めている。					
	持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
				●				今後は地元主体によるまちづくり活動の実施のしきみづくりを検討し、継続的な活動が図れるよう後方支援を行う。					

様式2-2 地区の概要

JR新潟駅周辺地区(新潟県新潟市) 都市再生整備計画の成果概要